



平成 19 年 10 月 12 日

各 位

会社名 日立電線株式会社
代表者 執行役社長 佐藤 教郎
(コード番号 5812 東証・大証 1 部)
問合せ先 人事総務本部 次長
鈴村 慎一郎
(TEL. 03-6381-1050)

平成 19 年 9 月中間期 業績予想の修正に関するお知らせ

平成 19 年 9 月中間期（平成 19 年 4 月 1 日～平成 19 年 9 月 30 日）の連結業績予想について、平成 19 年 7 月 27 日の「第 1 四半期財務・業績の概況」発表時に公表しました予想値を、下記のとおり修正いたします。また、個別業績予想について下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 平成 19 年 9 月中間期業績予想の修正（平成 19 年 4 月 1 日～平成 19 年 9 月 30 日）

(1) 連結

	単位	売上高	営業利益	経常利益	中間純利益
前回発表予想 (A) (平成 19 年 7 月 27 日発表)	百万円	262,000	7,800	8,900	5,300
今回修正予想 (B)	百万円	277,000	10,300	11,000	6,800
増減額 (B) - (A)	百万円	15,000	2,500	2,100	1,500
増 減 率	%	5.7	32.1	23.6	28.3
(ご参考) 前年中間期実績 平成 18 年 9 月中間期	百万円	251,759	9,900	9,663	4,483

(2) 個別

	単位	売上高	営業利益	経常利益	中間純利益
前年中間期実績 (A) (平成 18 年 9 月中間期)	百万円	154,219	4,670	5,088	2,392
今回予想 (B)	百万円	168,000	5,700	7,300	5,000
増減額 (B) - (A)	百万円	13,781	1,030	2,212	2,608
増 減 率	%	8.9	22.1	43.5	109.0

* 当社は平成 19 年 9 月中間期の個別決算業績予想を開示していないため、前中間期実績との増減率により適時開示しております。

2. 業績予想修正の理由

当社の平成19年9月中間期の売上高は、銅価が高値で推移したことに伴い電線・ケーブル、伸銅品の販売価格が押し上げられたほか、光海底ケーブル、ワイヤレスシステム等も旺盛な需要に支えられ好調に推移したことから当初予想を上回る見込みとなりました。

また、損益面では、売上高が予想を上回る見込みであること等により、営業利益、経常利益及び中間純利益とも当初予想を上回る見通しとなりました。

3. 通期業績予想について

平成20年3月期（平成19年4月1日～平成20年3月31日）の業績予想については、現在、経営を取り巻く諸条件を精査しつつ見直し作業を進めております。通期業績予想につきましては、平成19年10月29日に予定しております「中間決算短信」発表時に公表いたします。

以 上

（注記）

前述の業績見通し等に記載されている各数値は、実績数値を除き当社の経営者が現時点で判断する一定の前提及び仮定に基づき計算しており、実際の業績等は見通しの数値と異なることがあります。

その要因のうち主なものは、次のとおりです。

- ・ 主要市場（特に日本、米国、アジア）における経済状況
- ・ 急激な技術変化
- ・ 新製品・新技術の開発、タイムリーな市場投入、低コスト生産を実現する当社及びグループ会社の能力
- ・ 製品市場、製品市況の変動
- ・ 為替相場の変動
- ・ 資金調達環境の変動
- ・ 製品需給、製品市況、材料価格及び為替相場等の変動に対応する当社及びグループ会社の能力
- ・ 自社特許の保護及び他社特許の利用の確保
- ・ 製品開発等における他社との提携関係
- ・ 日本の株式相場変動